

計算機実験2 最終レポート

- 積分をリーマン和で近似することにより円周率の近似値を求める並列計算プログラムを作成せよ。実行時間を様々な条件（積分区間の分割数、ノード数）の下で測定し、並列化の効果を調べよ（前座）。
- 2次元空間上の Schnakenberg kinetics を持つ反応拡散方程式を 2 台のノードを用いて並列計算するプログラムを作成せよ（80点）。実行時間を様々な条件（区間分割数）の下で測定し、並列化の効果を調べよ。
- 同じく 2次元空間上の Schnakenberg kinetics を持つ反応拡散方程式を4台のノードを用いて並列計算するプログラムを作成し、並列化の効果を調べよ（100点）。
- MPI による並列化を学んだ感想（自由形式）。

レポートの提出

- レポートは基本的に latex で作成し、紙媒体を提出すること。
- レポートは、6月24日正午までに学科事務室へ提出すること。
- 他人のレポートを丸写しするなど、不正行為を行ったものは 0点。